



①藤原康博《迷宮～記憶の稜線を歩く～》2023年
油彩・キャンバス 作家蔵
©Yasuhiro Fujiwara
photo: Yutaka Matsubara
Courtesy of MORI YU GALLERY

柳原操基金・柳原義達顕彰事業
Y² project

藤原康博 記憶の稜線を歩く

Yasuhiro Fujiwara: Walking the Ridges of Memory

2023年11月3日 [金・祝] から2024年2月4日 [日] まで

三重県立美術館 Mie Prefectural Art Museum

次代を担う美術家を発信する「Y² project」第二弾。

気鋭の美術家・藤原康博が、柳原義達とのコラボレーションを展開。

三重県立美術館は、戦後日本の具象彫刻界を代表する彫刻家・柳原義達（1910-2003）からの作品寄贈を機に、2003年に柳原義達記念館を開設しました。以来、同記念館では柳原の作品・資料を常時公開し、その顕彰に努めています。

2019年には、作家遺族の援助により、次代を担う美術家を発信する新たな事業としてY² project（ワイワイプロジェクト）が始動しました。同事業第二弾となる本展では、気鋭の美術家・藤原康博（1968年生まれ）を紹介します。三重県松阪市出身の藤原は、国内の美術大学を卒業後、ロンドンに学び、現在は三重県伊賀市を拠点に制作を行っています。

藤原はこれまで「記憶」や「あいだ」への関心に基づき、意識に潜在するイメージと現実の風景のあわいにある山や森等を表してきました。本展の開催にあたり、藤原が自身の作品と柳原の作品をつなぐキーワードとして見出したのは「稜線^{りょうせん}」。一見すると線状でありながら、複雑な奥行を持つ「稜線」が結び目となり、コラボレーションが展開されます。会場では、藤原の新作とともに、柳原の彫刻作品を展示します。どうぞご期待ください。

作家略歴

藤原康博（ふじわら・やすひろ）

1968
三重県松阪市生まれ

1992
多摩美術大学美術学部絵画科油画専攻卒業

2002
チェルシー・カレッジ・オブ・アーツ & デザイン
マスターオブアート ファインアート修了

現在、三重県伊賀市を拠点に活動



②藤原康博《迷宮～記憶の稜線を歩く～》2023年
油彩・キャンバス 作家蔵
©Yasuhiro Fujiwara
photo: Yutaka Matsubara
Courtesy of MORI YU GALLERY

みどころ

✓ 三重ゆかりの美術家・藤原康博の大規模個展

2019年のグループ展「パラランドスケープ “風景”をめぐる想像力の現在」展やその関連プログラム（三重県立美術館）、2022年のグループ展「感覚の領域 今、『経験する』ということ」展（大阪、国立国際美術館）において、鮮烈な印象を残した藤原による、三重県立美術館での満を持しての個展開催となります。作品に通底する「あいだ」や「記憶」等のテーマに加え、新たな作風の展開にもご注目ください。

✓ 本展のために制作された新作も展示

本展で展示される藤原の作品の多くが、初出品の新作となる予定です。柳原義達記念館の広い空間を活かし、200号（194×259cm）のキャンバスに描かれた絵画等が展示されます。

✓ 柳原作品を新たな角度から展示する試み

三重県立美術館では柳原義達の作品・資料を常時公開していますが、本展では藤原が自らの視点に基づき、自身の作品とともに、柳原の彫刻作品も展示します。柳原作品の新たな側面を引き出す試みにもご注目ください。

* 最新の情報は、今後、当館ウェブサイトにて公開いたします。

<https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/art-museum/000279038.htm>



③ [参考作品] 藤原康博《Church on Cloud》2009年
ポリスチレン、木、紙 ティッセン＝ボルネミッサ・アート・コンテンポラリー蔵
©Yasuhiro Fujiwara
photo: Kenryu Tanaka
Courtesy of MORI YU GALLERY

開催概要

会期：2023年11月3日 [金・祝] から2024年2月4日 [日] まで

開館時間：9:30から17:00まで（最終入館は16:30まで）

休館日：月曜日（1月8日 [月・祝] は開館）、年末年始（12月29日から1月3日まで）、1月9日 [火]

会場：三重県立美術館 柳原義達記念館

主催：三重県立美術館

助成：柳原操基金・柳原義達顕彰事業 公益財団法人三重県立美術館協力会

公益財団法人岡田文化財団 公益財団法人朝日新聞文化財団

協力：MORI YU GALLERY

観覧料：一般310（240）円／学生210（160）円／高校生以下無料

*（ ）内は20名以上の団体割引料金

*この料金で、「美術館のコレクション」、特集展示もご覧いただけます。

*企画展をご覧いただく場合は、企画展チケットをお買い求めください。

*障害者手帳等（アプリ含む）をお持ちの方および付き添いの方1名は観覧無料。

*教育活動の一環で県内学校（小・中・高・特別支援）および相当施設が来館する場合、引率者も観覧無料（要申請）。

*関西文化の日（11月18日、19日）は無料、家庭の日（12月17日、1月21日）は団体割引料金でご覧いただけます。

同時開催

<企画展>

「宮城県美術館所蔵 絵本原画の世界2022-23」展 2023年10月7日 [土] から12月10日 [日] まで

「洋画の青春—明治期・三重の若き画家たち」展 2024年1月27日 [土] から4月14日 [日] まで

<特集展示>

「特集展示 生誕100周年 木下富雄展」 2023年10月11日 [水] から2024年1月8日 [月・祝] まで

「特集展示 矢守一声展」 2024年1月10日 [水] から3月31日 [日] まで

広報用画像について

本プレスリリース掲載の ①から③の画像を広報用に提供します（③は本展に出品されません）。ご希望の方は下記注意事項をお読みの上、ご連絡ください。ご希望の図版データをお送りします。

- ・作品画像のご使用は、本展の広報目的の場合に限ります。本展覧会終了後は使用できません。
- ・作品画像への文字のせ、画像トリミングをご遠慮ください。
- ・掲載にあたっては、作品情報、クレジットを画像と一緒に記載してください。
- ・ウェブサイト上に掲載する場合はコピーガードをかけ、転載禁止の旨を明記してください。

お問い合わせ

三重県立美術館 学芸普及課 鈴木麻里子、原舞子

〒514-0007 三重県津市大谷町11

TEL. 059-227-2100（代表）／FAX. 059-223-0570／E-mail: bijutsu2@pref.mie.lg.jp